

上方漫才大賞

上方漫才大賞は、上方の文化である漫才を育て顕彰する目的で、1966年にラジオ大阪が設立しました。漫才の賞では、最も古い歴史を誇っています。

1999年から関西テレビ放送と共同主催となり、2005年からはラジオ大阪と関西テレビ放送で同時生放送を行っています。これまでの大賞受賞者は以下の通りです。

歴代漫才大賞受賞者

第1回 1966年	かしまし娘		第31回 1996年	大木こだま・ひびき	
第2回 1967年	海原お浜・小浜		第32回 1997年	酒井くにお・とおる	
第3回 1968年	中田ダイマル・ラケット		第33回 1998年	里見まさと・亀山房代	
第4回 1969年	夢路いとし・喜味こいし		第34回 1999年	おかけんた・ゆうた	
第5回 1970年	横山やすし・西川きよし		第35回 2000年	ちゃらんぼらん	
第6回 1971年	島田洋介・今喜多代		第36回 2001年	中田カウス・ボタン	
第7回 1972年	宮川左近ショウ		第37回 2002年	ますだおかだ	
第8回 1973年	レツゴー三匹		第38回 2003年	横山ホットブラザーズ	
第9回 1974年	三人奴		第39回 2004年	フットボールアワー	
第10回 1975年	Wヤング		第40回 2005年	中田カウス・ボタン	
第11回 1976年	チャンバラトリオ		第41回 2006年	大木こだま・ひびき	
第12回 1977年	横山やすし・西川きよし		第42回 2007年	メッセンジャー	
第13回 1978年	Wヤング		第43回 2008年	ティーアップ	
第14回 1979年	コメディーNo.1		第44回 2009年	矢野・兵動	
第15回 1980年	横山やすし・西川きよし		第45回 2010年	中川家	
第16回 1981年	ザ・ぼんち		第46回 2011年	ブラックマヨネーズ	
第17回 1982年	オール阪神・巨人		第47回 2012年	海原やすよともこ	
第18回 1983年	オール阪神・巨人		第48回 2013年	千 鳥	
第19回 1984年	今いくよ・くるよ		第49回 2014年	笑い飯	
第20回 1985年	オール阪神・巨人		第50回 2015年	テンダラー	
第21回 1986年	太平サブロー・シロー		第51回 2016年	オール阪神・巨人	
第22回 1987年	宮川大助・花子		第52回 2017年	海原やすよ・ともこ	
第23回 1988年	若井小づえ・みどり		第53回 2018年	ダイアン	
第24回 1989年	ダウタウン		第54回 2019年	中川家	
第25回 1990年	宮川大助・花子		第55回 2020年	シャンプーハット	
第26回 1991年	中田カウス・ボタン		第56回 2021年	かまいたち	
第27回 1992年	トミーズ		第57回 2022年	ミルクボーイ	
第28回 1993年	トミーズ		第58回 2023年	プラスマイナス	
第29回 1994年	横山たかし・ひろし		第59回 2024年	笑い飯	
第30回 1995年	ハイヒール		第60回 2025年	銀シャリ	

第60回 上方漫才大賞

横山やすし・西川きよし、ダウタウンなど数多くの芸人を輩出してきた「上方漫才大賞」。当日の発表会では名誉ある大賞受賞者を発表。50回から新人賞に加え、奨励賞も事前にノミネートされたコンビ・トリオが当日漫才を披露します。一般インターネット投票も行い、その場で審査・発表を行います。



司会の3人
(左から関純子・大平サブロー・藤川貴央)



日 時: 2025年4月12日(土) 15:00～17:30 **場 所:** オリックス劇場
主 催: ラジオ大阪、関西テレビ放送
司 会: 大平サブロー・関純子(関西テレビ放送アナウンサー)・藤川貴央(ラジオ大阪アナウンサー)
受賞者: 上方漫才大賞／銀シャリ 奨励賞／ヘンダーソン 新人賞／豪快キャプテン

※ラジオ大阪と関西テレビ放送で同時生放送



《ノミネート》
 奨励賞: カベポスター、ダブルヒガシ、
 天オピアニスト、ヘンダーソン、
 マユリカ
 新人賞: オーパスツ、ぐろう、
 豪快キャプテン、ジョックロック、
 バッテリーズ、はるかぜに告ぐ、
 フースーヤ



2011年に新人賞、2016年に奨励賞を受賞。今回の大賞受賞で三冠を達成！コンビ結成20周年で、記念すべき初の大賞受賞となりました。



第59回上方漫才大賞受賞の笑い飯のお二人が祝いのかけつけてくださいました。



歴代受賞者など詳しくは公式HPへ

上方漫才大賞

検索